

令和5年度学校評価報告書

令和6年(2024年)3月11日

北海道教育委員会教育長 様

北海道美幌高等学校長

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|--|
| 1 地域・社会の信頼と期待に応える、開かれた学校づくりを進める |
| 2 組織的な研修体制の確立により、教職員の専門性・力量の一層の向上を図る |
| 3 働き方改革を推進するため、組織的協働体制(チーム制)の確立と実践内容の定期的な点検と評価、改善、引き継ぎを進める |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ICTをさらに効果的に活用し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を図る必要がある。 主体性を伸ばす研究と共に、家庭学習習慣の定着を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の学びに応じた指導内容に変えてみるなどの工夫をしてみてもどうか。 放課後の指導も積極的に行っており、親身になって指導をしている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 普通科では生徒の学びに応じた指導を行い、新たにコース別授業を設定し丁寧な指導に取り組む。 農業科では生徒の興味関心に対応したプロジェクト学習を引き続き展開する。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 物事の善悪の判断、自己管理意識をさらに高める必要がある。 自治的な活動を推進するための工夫、改善を実施すると共に、帰属意識を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員によって、やや指導の差を感じる。 生徒に積極的に話しかけるなど、コミュニケーションを図っている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 指導において、「共通実践」「傾斜のない指導」を大切にし、生徒が戸惑ったり、学校への信頼を損なったりすることのないように取り組む。 日頃から善悪の判断や自己管理意識を高めのために、HRや学年集会、毎月設定している「フリートーク」等の機会を利用し、意識の向上を図る。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 目標実現までのロードマップ作成を通して、主体的な進路実現を図る必要がある。 進学における上位層への、学習指導をさらに充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた、きめ細やかな指導をして欲しい。 進路についての説明を、直接聞いたことがない。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の進路情報を早い段階で把握し、個に応じた進路指導に取り組む。 進路説明会の家庭への周知を確実に行う。 	
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 「働き方改革」については、分掌業務の平準化やスリム化がまだまだ不十分である。 地域のニーズを把握し、効果的に本校の魅力を発信する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 天候不良で小・中学校が休校となった場合、登校前に家庭への連絡があると安心できる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 業務への取組を個から組織へと分担するとともに、さらなる分掌業務の平準化やスリム化に取り組む。 安心メール等を活用し、安心して登校できるように家庭への連絡を周知する。 	

公表方法

- ホームページに掲載、PTA便りに掲載

3 添付資料